



福島県立喜多方高等学校

Fukushima prefectural KITAKATA High School



令和7年度入学
1年次生

学年だより

第7号／令和7年10月31日

学びと生活を見つめ直すとき

2学期の中間考査が終わり、学期も後半へと進んでいきます。同時に今年度も後半へ入り、生活のリズムや気の緩みが見え始める時期でもあります。今回のテストをきっかけに、学習面・生活面の両方を振り返ってみましょう。

【学習面の振り返り】

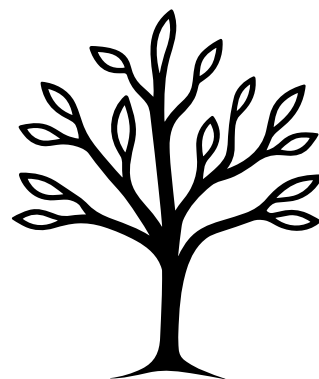
テストの点数や順位は一つの結果にすぎません。重要なのは、その結果に至るまでの「学習の過程」を省みることです。勉強は“やった時間の長さ”ではなく、“理解しようとする姿勢”と“継続”が成果を左右します。

- ・授業中に教員の説明をただ聞き流していないか。
- ・黒板の内容を写すだけで勉強した気になっていないか。
- ・わからない箇所をそのままにしていないか。
- ・思考を深めることを面倒くさがっていないか。

【生活面の振り返り】

言動が幼い人、だらしない人が目立ちます。高校生として、そろそろ“稚心（ちしん）”——子どもの心——を捨て、考えながら行動してください。まだ1年生だからという気持ちに甘えず、喜高生の一員としての自覚を持ってください。遅刻・忘れ物・提出の遅れ・服装の乱れなど、ちょっとしたことの積み重ねが信頼を左右します。

- ・8時の朝自習開始に遅れてもいいやと軽く考えていないか。
- ・言葉使いや行動が軽率でないか。
- ・やるべきことをきちんとやろうという姿勢があるか。
- ・高校生活を丁寧に送っているか。



ベネッセ総合学力テスト 1年11月

実施日：11月1日（土）



自分を試す「練習の場」として

模試は、点数や順位を競うためのものではなく、自分の学力の「現状」を確かめ、今後の学習の方向を定めるための大切な機会です。

日頃の授業姿勢がそのまま結果に表れる

模試の結果は、直前の勉強だけで変わるものではありません。普段の授業中に、どれだけ集中して聞き、理解し、家庭学習につなげているか——「授業が勝負」という意識を持ち、毎時間の姿勢を見直しましょう。

「復習」が模試の本番

最も大切なのは、受け終わったあとの「復習」です。間違えた問題を放置せず、原因を探り、同じミスを繰り返さないようにすること。

第2回 進路希望調査集計結果

	性別	大 学				短期大学			専門 学校	就 職					留学	その他	欠 席・休 学等	合 計	
		国 立	公 立	私 立	小 計	公 立	私 立	小 計		一 般 企 業		公 務 員		小 計					
										県 内	県 外	国 家	地 方						
1-1	男	1	1	6	8				4	2				2				14	37
	女	2	4	2	8	2		2	5	2			3	5			3	23	
1-2	男	3	1	1	5				2	1	2	1		4		2	2	15	39
	女	1	1		2	2	1	3	12	4	1		1	6			1	24	
1-3	男		2	1	3	2		2	1	4		2		6			1	13	36
	女	1	2	2	5	1		1	10		3		1	4	1		2	23	
1-4	男	7	2	3	12				2									14	31
	女	5	3	3	11		1	1	2		1			1			2	17	
合計	男	11	6	11	28	2		2	9	7	2	3		12		2	3	56	
	女	9	10	7	26	5	2	7	29	6	5		5	16	1		8	87	
	計	20	16	18	54	7	2	9	38	13	7	3	5	28	1	2	11	143	

10月に実施した第2回進路希望調査の集計結果です。大学進学希望者の割合が最も多く39%、次いで専門学校27%という結果でした。4月に実施した第1回進路希望調査の集計結果からの推移を見ると、短大進学希望者がやや増加、就職希望者がやや減少しました。1年次生はこれからも進路情報を得る機会があります。限られた狭い範囲の選択肢の中から自己の進路を選ぶより、あらゆる情報を吸収したうえで、数ある選択肢の中からベストな希望進路を選択してもらいたいと思います。将来ミスマッチが起こらないよう、今後も、授業やHR活動、学校行事をとおして、自分の進路について真剣に考えてください。



保健室利用について

現在、保健室利用者数が増え続けており、利用者数の多さが理由で体調が芳しくない生徒への適切な対応・処置ができない状況が時にあります。この中で、けがや病気以外で来室する生徒の割合は15%～20%に上ります。現状を改善すべく、今後は、けがや病気以外で来室する生徒は学年担当の先生で対応することとします。

突然のけがや病気 → 保健室へ

軽いけがや衛生面での処置 → 職員室へ

その他相談等 → 職員室へ



大切な練習の時期

高校時代は、人生を乗り切るための大切な練習の時期です。この時期に、絶対に身につけなければならないことがあります。

その一つは、これから生きていくための「知識や考え方」を十分に蓄えることです。学校へは、そのことのために来ているのですから、授業に、話し合いに、読書に、部活動にと何事にも積極的にぶつかって基礎になる考え方や知識を身につける必要があります。

二つ目に、思いどおりにいかない時、その原因が自分にある事を知って解決していく方法を身につけてほしいと思います。そのためには、「こだわり」「独断」「思い込み」「偏見」をなくすように努力することが大切です。「別の考え方はないのか」「これで良いのか」などいろいろな考える力を身につけ、自分を磨き高め自分自身を変えていってほしいと思います。

三つ目は、追い詰められた経験を持つことです。「どうしても計画通りにいかない」「どうしても時間が足りない」「これが、自分の限界か」と思う経験を持つことが大切です。このような限界の状態では、逃げずに、もう一歩進み出すことができるようにすることが必要です。自分で解決できる経験をたくさん持ってください。この経験を積むと、自分自身を見直すことができるようになります。

以上のことをこの高校時代に身につけると、皆さんの将来はどのようなことが起ころうと、自分の力で未来を切り開いていけます。新しい時代に対処できる力を持つ人間になれるよう期待します。